



## タブレット端末の Q&A

### 保護者が気になることを解決!



家に持ち帰ることはできますか?

**A. 今年の秋頃からの持ち帰りを予定しています。**

今は各学校の判断で必要だと思われる場合に限り、端末の持ち帰りが始まっていますが、今年の秋頃から全校で持ち帰ることができるよう準備しています。



子どもの目や姿勢が悪くならないか心配です。

**A. 学校で使う範囲では、健康への影響は少ないと言われています。**

授業中は説明や発表などで端末を利用しない時間や、休憩時間を入れるなど健康への影響に配慮しています。



自由にアプリをインストールできますか?

**A. 個人でアプリを入れることはできません。**

現在、配布されたタブレット端末に入っている学習アプリは、市で管理しているので、個人でアプリを追加することはできません。



どんなウェブサイトでも閲覧できてしまいますか?

**A. 不適切なサイトは閲覧を制限されます。**

子どもたちをネットトラブルから守るフィルタリングを入れているので、家でも学校と同じ環境の閲覧制限がかかります。危険なサイトへのアクセスは出来ません。



壊した時や無くした場合はどうなりますか?

**A. 故意や重大な過失の場合は弁償の可能性があります。**

破損や故障は市で負担しますが、悪質と認められると修理費負担や買い直しを求められる場合があります。端末を大切に扱うように家庭でも話し合ひましょう。



子どもが転校する場合はどうすればいいですか?

**A. 端末は学校に返却します。**

市内の転校であれば、転校先の学校で新たなタブレット端末が配布されます。市外への転校は市町村により端末が異なりますので、転校先でご相談ください。



未来の予測が立てづらい今、多くの情報から必要な情報を取捨選択して活用できる能力が求められています。今の子どもたちが、教育や日常のあらゆる場面でICTに触れ、学ぶ楽しさを見つけられる環境作りに取り組んでいきます。

## 「新しい学び」で子どもたちの可能性を引き出す

コロナ禍によりGIGAスクールの整備が前倒しされ、一人一台の端末が配布されましたがこれはスタートラインに過ぎません。今後はタブレット端末を活用して、解答にかかった時間やどの問題を間違えたのかなどの子どもの学習記録を分析し、その子に合わせた出題や、間違えた問題を再出題すること、「個別最適な学び」ができるようになります。これはGIGAスクール構想の狙いの一つです。



1 タブレット端末と連携された電子黒板を使って指導する 2 充電できる保管庫 3 高学年になると外付けのキーボードでタイピングもお手の物 4 6月の休校時に行われたオンライン授業

可能性は無限大!  
どこにいてもそこが教室

今までは、国語や社会の授業中に手を挙げて自分の考えを発表する光景がどのクラスでもありましたが、タブレット端末を導入した授業では、一人一人が端末に入力した意見を、個人の端末や電子黒板上で二目で確認できます。クラス全員の意見を見ながら、異なる意見があると、先生は「なぜそう考えたのか」と子どもたちに問いかけます。子どもたちはこれまでより深く考え、多様な意見に触れることができます。

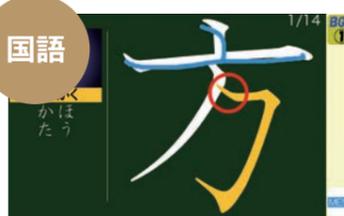
担任の先生からは「今までは手を挙げる子だけが発表して、せっつく良い意見を持っていても、消極的だと引き出すことができないこともありました。タブレット端末を使うことで、そういった子の考えも授業で取り上げられるようになりました」と効果を実感した声が聞かれました。  
6月の緊急事態宣言を受けての休校時でも、インターネットを通じた課題のやりとりや、オンラインミーティングツールを使った朝の会で、先生は離れた場所でも子どもたちの様子を知ることができました。



## タブレット活用授業

～勉強がもっと楽しくなる! 参考例を紹介します～

※写真はイメージです。



国語  
タブレット端末上でなぞり、漢字の書き順を繰り返し練習することができます。



理科  
植物の成長を写真に撮り、観察日記をまとめたものを提出したり、プレゼンテーションしたりします。



算数  
個人で導き出した答えをそれぞれの画面で共有。自分と異なる解き方を一目で知ることができます。



社会  
調べ学習はもちろん、アプリを使ってパズル感覚で地図を覚えることができます。



音楽  
コロナ禍で大勢で歌うことや楽器を吹くことができないので、ピアノアプリを使った演奏や自分の弾いた曲を録音します。



体育  
運動の解説動画を見たり、子どもたちがお互いに撮り合った動画をスローモーションで解析します。